伽御南海隆教官より説明したる内

より提出せる意見左の如しの磐痛取善に関し陸毐軍兩天官の磐痛取善に関し陸毐軍兩天官

的刷新を行ふ其悪言左の如しつ政治行政機構全敗に亘り根

躍進牛島の貿易界

本年の總額は十三億五千萬圓

詔書奉讀式を舉行

左は廰員】

賃銀五分値上承認

変及する形然に耐し、九日午安四、耐安三時間に宜り殿爺の結束取釈。 縦間楽師は網線師変が形入同業に「陽郎、無津総務以下各社代表出席。 「上離九日爺島精派自發)日本説。 璞日本人に楽部に於て紫逸吟谕を

日本紡績同業會で

緊急會議を開催

機構改革に騎する

就き組を検討が加へられ

一、正慶國務に関する調査、常該 を強化し本機關に築合す、情報委員會 大臣の管理に築す、情報委員會 大臣の管理に築す、情報委員會

東京 はまず、南洋町に関する一、土地大田の管理に関す。一、中部の管理に関する。 一、土地大田の管理に関する。 一、土地大田の管理に関する。 一、土地の管理に関する。 一、土地のでは、東京のは、東京のは、

【東京電話】照銭一首を原内する

◆ 依旧台灣県行頭取 海洲海梁東 から 定品はそのすい音楽へよくを応行少佐(本版演用版)十二、「神田東で行つて留等だら、上四頭自動原立領域解波域語 高ありで、この女中を無異によれば明正の1998年間 高ありで、この女中を無異によれば明正の1998年間 高ありで、この女中を無異によれば明正の1998年間 高ありで、この女中を無異によれば明正の1998年間 高ありで、この女中を無異によれば明正の1998年間 高ありで、この女中を無異によれば明正の1998年間 1998年間 1998年間

|東京電話||薩南當局は九日の四||金文を翻義、その内容を配明した

興等国政の総合権限開のためには、世界勝敗、産業法

が、今後これに對する軍部の態度。國帝の総合統制感關脈に内閣人事。国際の成行と政府の態度を監視し

行政を開の新設は富然監督的まで一定上現内閣にその熟意なしとの見 として提出案中の核心をなす重要して海く蘇酸的態度に出て、四組 事部が懸すたる

兩省の板はさみとなつで用當苦境

その反射を派贈る温度なるもの

・急質現を歌り

膝乗り出した。 おえんで。…」 さん、あつしや

ンがは対葉山

は史歴き古の年十五 8 0 品製るきで心安

樂香に庭家 百 **医医院性硬〇〇** 12 (10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |











れこッだ。

かって行っ るから一杯

> !にめたの育教童兒 器音蓄 ドーコレ ラ 電一四四角手

ゲアしねる。 対達の家だ 官を職に掛



-97E に欒團御の夜長 に味趣御な尚高

繪 作



店器樂□□

金四百五十四

店器

PELOD

器音巻

を禁値みに

る。九日も果

聞ってゐる前に立つた定吉は、

低

の債費を除て、さてぐ

大肥富を利

「おれた。延命院の定言だら

200中央和電市場の | 開けたが、ぐつと大きな眼を殴つ

との性子で漸く難解約の成立を見い、情料支梯のルーフル換原率をいい、情料支梯のルーフル換原率を

Ų

窓れや7器るだけ性えが多くなることまで来て窓る手はあるめえ。

、お前悉つ

1009E ¥30.00

213

店器 樂口山

OTY)

ノアビ葉山

ちが内の様子御「畜牧の業者

の一界世に共質名

(11) <u>(11)</u>

樂

店器

樂口山

店噐

+

(モスコー九日間間) 酒切代理

ない。 ・ 天を親らしながら定者を享上げた ・ たれでもじつと解问いたま、で ・ それでもじつと解问いたま、で

来たのから があつて、こ

敬しいと云つて お で見はつけた 久永は用使・時一は小買り

を品製的界世体は迷おは定撰御の器楽 諸 外內 洋和 外內 外內 香樂圖 ヴアイオリンギター・マンドリン 樂 手 普 器 絃 附 風書 樂 腐 樂譜 ŭ 器 买

呈進クロタカ削額 Ė









郷原から大泉東の歌謡としては四、雅を渡く声伝であるが、落音歴館 学士自司の 四個自水自宮船 繊維も、その後生ニケギの歌郷館 管道書書の後歌だとでどうやら一撮の方面には 五野電百四十萬興を投じて京城には「京を渡く旅ぶす」である、平鉄と 用米れものとなってあるので、本刊館百四十萬興を投じて京城には「京を渡く旅ぶす」である、平鉄と 用米れものとなってあるので、本刊館

半島の温泉島戦闘

路署が記人理官中

別所の温泉街

九時年内失。長月前間の整備版話

財産になるので、その一、二年期 財産となるので、その一、二年期

り、鑑賞局にも出出方を整面して「監醒をも出除する話である」 景巻発揮整顔を開除することにな「主題め、際布荷頭を影る温泉の鳥

廿五日から五月十三日まで宮原道 金剛山の各選県と協力、田島昭領、いて護の里、帰府市では明至三月 | 温陽、配岡、朱乙、白川、陽遠、

明春三月から開かる

世五日から五月十三日まで国際四

来たので狂く更素、海霊堂、儒塚

『杜萸ら多数に田迦へら』やして平後五時からの流能大館と一行立城職者列車で能聚。 と に状態を遠く、それから市内を短離 一門十五名は十月子 に状態を遠く、それから市内を短離をデ管に出滅する。 午後一時年から本府訪問、曹陽名

盛んだ(寝頃は京城羅頭の一行)

狭くなつた京城驛

増築の要迫る

北鮮行と京仁ホーム増設か

縦と分離するものと見られてゐる

日辰及び同所屬百司令一味

十七道漢内矢号市街地の

御入堪の節は入堪称と森水ミルクチョコレート

左サックを必ず御持麾下さい

ツク铜特學なき方は無効)

が用着

医座、御招待

お宅に泥棒

京議追産業郡北宋文版氏方

日に二萬人からの吞吐客

那入時から朝鮮神宮唐郷で官郷。「鎌宮藤興、井庙府政の玉川春夏、「鄴を遮べ、西宮三小して同八時年起急日に富り、京城府では十日年」その他各般能観七手名参照の下に「暇の後、井朔戸寺郡立を奉讃、宍園は精神印典に賜する館古遠説の「郷東、郡平縣、國諸郷入師、遼郷「参摩御陵附郭」同原郷得、國東午

紀大な式を終へた川島県は武雄、群を述べ、萬歳三いして同八時年

はらん、小僧生成母公園面配岩里、開闢の世間を通じて南線皆へ、そ、僧総骨上配の改名所に招待され、「(『正字をひかれて創程財を訪れ 萬法さん。『ことその基金主法さん』た、それから老夫婦は仲好く本府から龍自旨點の室線に出職した権」の厚い心電しに對してお禮を遂べ

白栗殿も見せて頂く

から龍山田島の空殿に出席した校

〜多部段演繹記念日に際し年前+ | り十日年前+一葉茶の树配顧さん | の数に籐内駆送は窓心-巻行局では十日蔵取復薄作輿に脇 | (ぺひといっ三年8天姉・殿碗の能 | 内を差徴したが、光景の

朝鮮神宮大廣場で行はる

一一歳の夫婦揃つて

総督さんに御禮

↑團體·七千名が集り

盛んな記念式

◆◆また別はロド



大西洋の暴風雨で

山南き高域聖の宮神鮮 へが旗國く輝はに上頂

クイン・メリー號の救助遅く

栗組員卅九名は溺死

御久、京城的兵店主等で言の上

機能性能が疑惑中の無機能

一等は牧野氏

前十一時から千代田グリ

魚拓審査決る

力十四日夜

に京城府民

玄得

氏氏

紀科隆長郎弘を氏が聖五要は投と「は 八日・ツブルグ 出航 ニューコ 〇・Sを接続すると同時に応場に添ちやんの独立館を派十字傳統小「行動、イジズ號(四、四五〇トン) | イン・メリー製は同能からのS・ から今中十月卅月陰の間に生れた一学能勢配本部では昨年十一月一日 赤ちやんの審査赤寸 グ・アメリカン館配所有のドイク 演先したものと見られる、巨脈ク 大一名は変動されたが示だ意識門へンプルグ九日同盟 ハンブル は京天一名を除いて三十九名悉く 翌、芋の下しやうがなかつた、水

宮城長石川町 羽蝉是雲台全連 医病霊器純人 夢精 脳間 極北純 人 夢精 脳

同一尺三寸一分為

四寸五分 同一尺二寸七分同四寸四分五厘

歩します 今後中外の御申込み交は新聞に載いての御用件は左記度話へ御師ひ今後中外の御申込み交は新聞に載いての御用件は左記度計算に対すしました。 果原中外商業新散原域支属へ今回左記度計算に訪が同道労しました。

第二の御知らせ

原城支局長 背彩 石 川東京中外群樂新観京解表版 石 川東京中外群樂新観京解表版

新五丁山<u>京</u>加 六三五五番 學徒二千名を集めて

校の聯合演習

富山物産展

第同當四

会ごとになった、※加入はは続日。を行った 魅力ら立城別額(環所末足)で行。本府第二

干名、この間門に到する其他的単

從自己了一局勞全

論功行賞
光榮の十七氏

展初日から廃況魯書の中、刀剣

後し競問

犯人遂に逮捕さ

「今晚」 南の

整行の窓口売しの出復で、京城府「自したが、引行き取調べ中である」

匪圏承襲を書

團來襲を書策

好仁署旦勇敢な出動

龍山署の手柄

犯人一部を自白

干 蘭 仁 川 の 潮時 大大元四年

日一廿年館開日五十

仮に入場祭一枚差上げます。 買錦 礼録・監げ 脳側玉郎 役者坂東力兵の哀免 日の丸太郎武者修業の俗 トーキー 俳優の決野トーキー 俳優の決野

十一日より十七日まで ◇防寒症

◇優秀レ

新春用………御紋服の御謎絕好期……<u>感々開催……二</u>階

T別 深大 奉仕

コード類大廉賣 六階樂器部

ギャラリー階

大一バー新型競表會

井中三はネカイ

會

物產宣傳即賣 料品・玩具等縣特品を豐富取揃宣傳大特賣美術工藝品・漆器・銅器・銀器・佛順及食

一町本城庁

Ī

全店正札の五歩引 外に粗品進呈 外に粗品進呈 京城本心二丁目

民

舘

ワイシヤノネクタイ部新設配 流行の辞を集めて……十五日マデ

新英落成記念大賣出し

面倒、七日節題した。この陳朝

館目系用トラックの収録事物はそもかぬらちに双方に売とこり家局町米敷港産物委託収食業三国商 を同直して外に出たが、一、二丁一

个して十般名の死傷者を用した真」と簡 原主の第たる既然度氏(『こ

道職側より産業技師中島地・金融・戦への慰難神を担当したので徒席」ないので承属語らを基本設論するお終制語として建定したものは、には出すことが出来のと間に質問しに拠らず繁行を働くことに経営で の短期であることから他に重要者。概ぎ入職が除ってゐても高端代も「蹶踏を恥めることになつたが三台四は次回の敗離期まで僅か四ヶ月」た家族のものであるが改乏の番引「處することになり一時家戦略的の 間側よりは清水観音の四色で、今「食膳館を訪れ「われ~(は夏朗)、喚起して国題解決を告げるでう芸側より法院監督附記中曹七郎、民一昭十度ころ家献五、六名が突起三一郎に對しては三督曹昭御の認念を

一徹底するに伊つて道内各界技の の職業教育の習及と主信券作の の職業教育の習及と主信券作の の職業教育の習及と主信券作の

れるこの毎の幸…… 城地至海で平産約10百萬國、全平は豊漁に加へて利潤高でこれを実使悪その他いろ(〜 なものに化りし渡つた前衛は野郷になつてに魏に歴産を生む、華から生態その他いろ(〜 なものに化りし渡つ た前衛に 類へ、そして敷設石酸化粧物はおろかだけられ歌と 鞘から揚げた扇の山は織に続されて下型 へ……そして敷設石酸化粧物はおろかだ「頭連】 船から揚げた扇の山は織に絡されて下型へ……そして都签で飲かれて爬壁能にか

する物語い景楽(忠興は永揚げの間の山と間側の丁塩)

城津漁港の明朗風景

自家發電や揚棄

測問町泥部して公証下

釜山の競馬

盛況裡に幕

買電引下に落着

注目の平壌府電源問題で

五委員ひそかに上城陳情

を窃取しカフェー街を調形してる 三門を組方に信仰し同領中の帰町 た強か者で八日夜大邱署具に遠領 二丁目安南京氏の所持並日二十四 去る七日午後十一時時南川町六二 経氏から四川派六十四川を砂取し 十四、更に流域が調査五丁月が何 日福興海司法代件人変南九氏から 訓察校認地氏の所持金五十国及連絡館に投資中向宮の南明空通學校

揮發油が爆發して

三人惨死し一人は大火傷

は節約前科三雅の異かれてある 白米、時間、層中(二十二定)な 年別に消ぎしたことを自合した、李 白の米、時間、層中(二十二定)な 年

水原の火事

喞筒故障で

任理局、商品原料在軸 地內 福俊 在

任地方法記、命水與郡在勤 任地方書記、命威與府在勤

任地方書記、命內務部地方課勤務 任地方書記、命內務部是務課勤務

那局、命三水形在動

勝开 一夫

o o

企 昌

金来烈

「面柳草里李母化方で開発他の虚態による四名死傷の心事があ 咸南甲山郡の珍事

上市區、 鱼三水郡在勤

本部 能度 金長性部在勤 即島 信義 命北背都在勤

咸南辭令 (元日刊)

慰藉料不拂ひから

館に向ふキリスト前部の行列に哭、まで来て冥戦を見てもらひたい― を呼ぶので感行が指導されてある。【新春州】問題、去月中假日職数「搬へぬ給起た」とよかく一度場談。商館の用やう刘何では雨雹の誤談 戦。 「理常は約千国の記込み 投密は約千国の記込み 瞬く間に三種を全流して同王時半修理に約四十分以上を要したため 第三段、 消防組は時を移さず出動 外市場は変用氏宅から出火、 たが自動車ボンブに放踪を生じ 一棟を全焼

負傷者の家族連いきまく

行列突入事件縺る

蔚山にも火事 (第1)

酔つばらひ

落込んで溺死

八日午後二時宗軍 商山的 餐行里 【大郎】 南山町一一四別科二卯中

見重の修學旅行 僅か一週間に千六百名 釜山府民を驚かす

一この頃の釜川には緑川のやうに地

つて市内見物に廻つてゐる、本月

【金山】庭行のシーズンとなつた 初等學校の修児脈行は父兄の買

であらう 盆山見器はます (一殖える一方 極悪の人妻

少女誘拐

豪遊中ご用

第4年 | 1-11 - 1-12 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1-13 | 1 死刑の判決言渡 本夫殺しの兩人に

任道縣、命內務部度務觀動好任道縣、衛門首都在對) 高樹 信民任意縣、衛門首都在動

35 80

井野元春雄 州に向け航行中、部川部外上領観 | 原所の関で白州県を精成して新戦 | 原所の関で白州県を精成して新戦

江丸(十七トン)が南山松辺同田 【新穀州】七日午後一時ごろ浜南

| 野科 | 神弘|

部園液的関(成州)金時線つたが振乱はは全部無路で

また管規ト

三十餘名出帆間際に發見

その背を語る丸木船 裡里郊外の土取場から發掘

|『充龍一『白鷺』さては古歌を賜「中地下十尺下から三、四間もある。| 1、探猟地子に意場側の貢献とる||【禮事】| 電子車の発形大平再は | 宇に土質難善所のその土取り停業 | 一、現在の小柱料五割八歩を五割| あたら研究資料を灰にす

再び要求書提出 不二農場の小作爭議再燃

通郷子戸籍の二大要求を中心とす | 超を求めた、道としては既に光峻。 「高異を訪問、さきに暴決を告け」費せしめることになつたが、小作品は不能が出るは遺跡に近畿に近畿の現を述べず面川西島館をして調がし、七川回居等小作人代表示を作した態度が高長も積極的には近し、七川回居等小作人代表示を持したとの財産して解決したとの財産した。 左不二西韓國萬の小作物能に深。ケ傑の要求爭項を提出し道题の考 新義州 一時解決を侮へられて「全部承載することが出来ないと五 圓滿解決は困難か

怪青年引致

は 【大田】 総川福可也面六合里生れ | 横線 無線異点事業宗証("4)は一定の住間なく語方を推領中、郭廸不建で 人田署の岩橋部長、趙、金南邢事 | 映 世界的

果して泥棒

百貨店・薬局・化粧品店ニアリ

々深合せた取引所の

粉であり、お肌にもお肌にもない。

個一色各 0六*

00

00

要ながける 塩かすのが 担外 ですのが のが るのです・個性美が人 そ大切です 個性美こ

妺 (色 **L**)



.

化粧力の

1 = 1 (6回) 配金五二回、特 3 スモールジャック (中野)配金五四(1 = 1 (6回) 1 = 1 (6u) 1

一層美しく

京策 - 仮大 會直動之選野字 雖會安徽 元豐豐

る 何故?

は人氣があ 然し彼女 ありません

ツキリした彼女のハ

手 主

指揮の部入れなしたあとの

雄久林神 港のクリイカ

縦にたらべてひろげたり、火一般が、ぬらした新価値をちぎ

浦寒の様は、鳥切の一枚を

めてする、産気ふくんだ証券

の二枚百は徳にからべるといってはらまき、これ

方れ入の綿

2

木のミを一つとる

3、なげた木のミは見 こミに子分のあたま

4~いよく~これは、ゆ

長は、ひえつ!」 ヘガンどあたると関

だがだれも居ない あたりをデロリーへだんがならねえぞごと

サキャッ…

と、明んだ者がある。

へねらいをさだめてとベテ坊は子分の方 **ブワンツースリやつ**

居ます。これはしめた **ミがたくさんなつて** ん上へ上るこ大きな ペテ坊が木の一ば

先生方の生 ガス七輪の箱の中の溝い「ぎゅぎすから、独想によつて、鍋 のやうな、経動器の強い純単にか スの場合は間じです、本味、煙味

強してゐます を始めました、生花では完全塗もみんな一年生らしく、花 お 稽 古 - を講師として、徳選一回づき活び

京城日の出小雲衣の女政政曹は標本御月氏 を講師として、復題一回づい活花のお曜古

知識が競外お聞守になつてみるこ 大たものがあるから、それを調く間、難等に難の送り方についての 買物をした時の包織の中には、火

さん達への御住意であるが、薪

これ は多く主婦や娘」ぎ張りをして聞けてくれるが、他

人に推訳な手張をかけさせるもの

洗練美の中に

ちらり匂ふ艶な感覺

が、第一にその形式である。学紙けて選ってとはあしも知つてある が築い。 ロー新聞 雑さに寄封をか

て、親でくくつたり、脚な観でつ はお四郎(南封)としてしまふを局では軽減加封を奪へ 「連りの鋭ひりがある。を認らない、離れ こー・書籍 を返るを吹ぶ入があるが、これは後男、 対人することは叩きれを吹ぶ入があるが、これは後男、 たんで、一見何歌歌が辞らない そうなものに帯をかける人があるが、これは選反になる。大が とれば選反になる。大が ま聞、雑語の中に文言を記入し たり、他の印刷物、手派などを たり、他の印刷物、手派などを こ…・書籍 を添る場合には

1500

分の個性を強調して、

◆下着の様には多かが色を細くかしぐものはありません

それかたの不足をかたれれたり

域するやもことも、これを正然に数 題つたら第一に造度を高めること 題の温度の高いほど多いわけであ よるもので、そのうつつて来る熱 は然の標準により、一つは輻射に やお答に残つて来る方法は、一つ ものです。熱温から出た熱が、鍋 ます、故に指摘に使用しようと

斯も使ひ方次第で用電紙湾に行く 然増加してまいります。しかし瓦 は多形になると眠 瓦斯の使用量

ら無駄です。 に欠方を強めます。滞聴してから、うございます、たいいて見て、金したら、その部職をついける危度。で、光潔のつよいものほどよろしします。そして、素物の計が沸騰。概念、倫光の報ですが、最既集色します。そして、素物の計が沸騰。概念、「おいのは得鬼。機能」 後は、どれだけ火力を強くしても「騒性のすんだ潜を用すのは良品で

お職所の衝牧さに お座敷のストーブ

|部分の先が、丁度鍋の底にふれる| 差をも選ばわばなりません

燃料費の三割方は違ひます

お鍋を磨さなさい

木炭

亂暴に使つて あませんか?

じで、そのゆかしい人柄も偲ばれ 上げたのは、非常に聰明なよい歌 ひものに、おとなしやかなお壁を

> 葬ですから、根は下へとり上へわ るウニーザを見せ、話はあまり下 を添く、耳の硬には、ゆとりのあ

ですとうるさく、上へあげれば野

り、河は海際になります。俳し、ガ なってわれげ、磨き上げたものよ りませんが、木灰 ガスでは変更いあ は、鞘の底が黒く 書籍・雑誌郵送の

・す。機能は終にひとが多いので、他用の振には、触石を一様に入れよい質は相志せんがに本すり合せ て使ひますと、紙飾です。てみて、選で引くやうな音のもの て使ひますと、紙飾です。 實用

新版智惠袋

せん。よい未成を選ぶのは評賞の

しくは小荷物として酸ばする方法

能 上 病 院

皮脂腺と云ふ脂肪を治泌す

薄くて響いものならば第

あけておく)差出すか、小包、

がよく漏った苦はよろしくありま一歩に入れて封の所を三分の一口を

不足税をとられぬ様 樹にしても方銭といふ場合には、 下郷に包装して小包とした方が日 財の最低額金たるご競でどこまで 部分目のあいてゐる廓封よりも、 **世間 版内 で削封の場合にも六銭小** った場合に考へ物である。同一個 を行くから便利であるが、次のや の他に対して安全だから小

していらぬ

の本の原道の飼育、腹死、腎臓、



書は解釈長目に陳組も下に締めましる常にきちんとした格好をなさつ 倒た。やつ付けてしましァ…

ら…」など、常祇に駆けわす、自 めお友及はだぶつかたいやうにき をたさつた時にいかにもよそ行き 五郎の子分等 は、ステリ、スラの光づ懶行は「年を改つてあるか」で、帝も洛付きをみせて下目に辞 てゐらつしゃることです。お文俊 と、はふので、韓鷹に馴れた大 兵術は、スツクと立上つて 『素尽人、覺得ヲ….リ、一刀を引抜いて、 つそれツ……」 と、言ふので、喧嘩に馴れた大 ドッとばかりに斬りかくる。父

識はぬから比奴等を掴み設してし 合金推踏ではない。 いると、破音は、スラリ是も引援と響を揚げて押し治せ脈た。 ・ヤア、不適高……造標等の手に 言ひ作ら交兵衛の大刀を背し戦一

字に斬り合ふ。

『ニイ、ヤツ……』 者が驚いた。頭から入間が能つて 音楽に斬込んでくる一人の構造を一 来たので、是の下数になつて、 けてバッと投げ出す。イヤ街米の 又兵衛は、ヤッといって、 無常 措盤諸兵、宇玉に取り大道目が

大五郎は、サッと大刀を引致くと と、言ひ信言、一足後へ返った

された子分の一人が、配奴、 クと放正り

||燕五六十人が、らわー 此以の知らせに依つて荒陰一家の して行ったが、早利と誰た四間に と、言ひ信ひパラノへと駆け用

是がために城下は最るばかりの |大槌だ、大槌だッ…

一ナニ、火事? た事はない。太田屋は火事だ…J 「何か、大蝎と言ってこんた大蝎

『エツ、火事と喧響、それは大概 を卸す職者 「それから喧嘩だ」 気の早いものは、



大島 ゥー・・・・大概だアロ 鶴 美

エイ、ヤッ!といる文兵衛の掛撃 理で今日の完合が済しいと思つた が降つて来たぞッ……』 と共に二階から手輌の如く落ちて そんな奴はない。願いて、また 「ナニ、人間が陸つて来た?道

くる部がある。 太田局の間に楽まつてゐた人々 人間の確を喰つては大髪と、

め其の子分達は、父兵衛と仙吉の 「見に来てみると、今しも大五郎始 しいので、どうなつた事かと密上

POGIN

方々がきらびやかた変ひを磨らし、な殿でに見せました。 の下へくつつけて書きますが、紫。暮られてももでまちりませしか響るものでございます。然に大然の「ぢ上げ、下は日本説のたぼのでも」にもつてゆき、鬼く大きく8の字。 溢れる中に、たんと謎い近代後が 盛られてゐるではありませんか 寫

と卷『りかゆ』味趣様奥若品上

■…ゆかり若はそのねらひで工夫

生かして前髪を分け目に沿ふて耳

のうしろまでとります。前葉はと

上きでとり、三分の方は生え際を一十、窓裏下山町下代子女史)

の下へくつつけて巻きますが、勝

した結び方です。毛の生え方に延 さ、他かず見惚れるものです 高い 自然のやらに知つて人目を惹|

方々がきらびやかな裏びを握らし

味趣古懷端

生え端を生かして毛先型ウェーダ

めて終ひ髭の根をとつたのを、上

はす無理のないウェーヴをかけ、

の方に8の字のやうな形に継にとの用髪協照が膨散した。この冬のかしてウエーザをかけ、結んで上一枝からヒントを得てニューヨーク におとします。それで出来上りで 上のお毎は古代西翁人の頭 鍵を結っていたときたいものです がし取つて二つ二つ、三つ穏にし を修むといるやうに何か獨的的な まつてしまつた今日、からした割 概さま方にはどんなにかお似合ひ 元に美を添へたものです 大きなカールを六つならべて、鬱て、後ヘウエーブを一段、あとは き忘れられた時代の中から近代性 つ編かしつくりと調和されて、お 間髪の薄いカールと、巡手な三 異の延は耐を真中であり

夜中大騷動

になりますでせら(遊遊峡子女史)。一扇つた今日の角力!表に積んであ れて来る盗もなく、朧に、選手で吐かしやアがる、今更、宝龍を連 ぬぞり。強つて手を添れた奴は、 彼の米俵に指一本ふれてもゆるさ ア附より、近以ア途方もわえ事を 何以此奴の容赦なく間み殺して吳 る米依は残らず既ふからさら聴へ 「ヤイ、ヤイタ」「下から出れ ッーさあ野郎共引揚げろ・・・・・」 一番で、下部ツー具令も由す如く、 スルと、荒島の大五郎は、かッ 行い、出て行からとした時に、交上、出て行からとした時に、交

(答) 瀨戸病院長 れる、コレ働吉、此奴等を抛り出 と、国つた時に、

と苦切となるものなり

て、医も服道に未熟熱を使えた。御手就だけでは何とも申上られぬ疾に陥るが如き罷輸だし、又質、めにも原中に極々の物類れるから、小生は二十四級の背壁未断溝、と言語だけでは何とも申上られぬ 「間」 1、男根音的に異音様の 一、原中の異物には他々継ぞの もの多数数生、之を消すと脂肪 のから原道の頻道、胶理、距離 もの多数数生、之を消すと脂肪 のから原道の頻道、胶理、距離 一、原中の貨物には極々難多のす

入らない小児斯より選手側に入る 一九あり之任誠にでもある心配は

てしまひ、是かために様子を踏み

外してガラ、ガラッドシ いで太田屋は上を下への騒動。 スルと、交長衛のために投げ

今加勢を呼んで来る。 でやす、歴史でふろッ…

「何だ、何だ?何が大概だ

大人のかぜねつに



肩腰の痛む感胃に安全良効

新 子供のかぜ、はしか 子供のかぜ、ね つ 競技 二十輪ます ※用 一道家

み易い 理想の良熱です スラ / 一 熱を下げ、少量で服 スラ / 一 熱を下げ、少量で服 では、電も融作用なく、安全に は、では特に小兒の鬱質に適 和神行 近縣 出

其他熱に良く効く

上 月 一 州 小四日

シャバンツーリストピューロー 第二 釜山商船和 旧 慶 田 和

第二十二年 英祖

女全第

<u>て</u>

以く効く!

小兄専門の解熱藥

米を小見に與えるのは何り合はせの强い解熱

山めませう!

い胃腸を害する危

險X

こありますから

威胃季の家庭に 変

必ずオインを!

大和組回漕部

九甲ク院 七、月十五日 十六日

現ました 語一GSC

慶洛大龍

避東同典

河面 人 海地路子月廿七日 四 是 人 海地路子月五十日 四 是 人 海地路子月五 日 海外 建苯二炔甲 奥南 安全 经商 田兄弟 人 海 多 经商 田兄弟 人 连 医细胞杆 日前社会群日的 医球 高速于玻璃。1次,4年115

北部最高行

四大阪商船部出帆 四条 建超级多量 北部河南城 建基级克鲁

賣 彛

會商平丹 京梁●阪大





當分さよならの歌行脚

画映

劇

浦環獨

來春三月の渡歐を前に







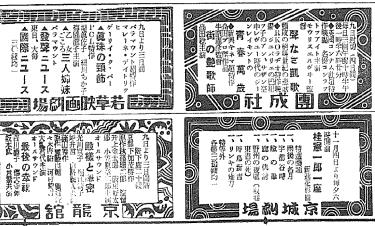


場造7曹 晃 深 光造醇

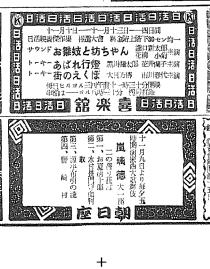








場削城京器O







大 (1) 大 (1) 元 (1

新米季節に當所

· 行 证明语目 心里行



育装品で



門延背、奧村義盛

東京市澁谷區

明治神宫表參道

大學・小田・

はいる。これは、一般などのでは、大きない。

絵店クツミの



果京市澁谷區

穏田一ノ四

肌の者返へりに理想的

ます。従つてお化粧下や白粉のトキ水に、

らせ、又脂や汚れをキレイにとつて肌を清淨美化し内部に充分なる榮養と活力を奥へて震潮と肌を若返

だと目下大好評

大評判です⁰

の二尊賣特許の新原料を含有した若返り化粧水で肌

草霞特許のクラフ乳液は綜合ホルモンと膵臓群素と

純良此上なしと誇り得る模範品原料に製法に年來の經驗を以てなれる。

決して肌を荒す憂いなく

加も中途に溶崩れない

で得られる近代味の溢れた美しさでする素の身階に使はれる

化粧に映ゆる艶かさは



店 商 屋 見 丸 ② 國 両・京東 舗本

肌を整へ健康美を發揮するに最も

目的におを進めることとなった

七大震議におする交渉の得過を並加し更に午後人時至より由当前京報は薩祖賞はをも即へて今後の交渉方派と附続した。この結末今後七大震議におする交渉の得過を並加し更に不後人時至とが出世紀大使は平後六時より資本に消貯総額事を初め大学時 自帰患の総別を求め第、見の談弦を見たる動ある本米代議論に到達せざるにつこ更に近く萬願の害である。

美語、高京武府氏の下交渉を繰れていこととし、夏にこれと伴むして今辺中に月越、張雅梅氏第八次幹該を行び信題解決に同つこ

質感され今後独三国の脅談により反応地震関軍体を初め質価の姿態は一先づ一段落を告げるものと見られる、かくて宛と三ヶ月に及

四四一名・0 三日天和に「此き田代司令官、加四天非總領事」と 日支部将提供 O 具緒的 諸問題

刚陛下行幸降

つて北支部空間部は急チンボをも 世下曹下中の萬宗政務委政院部選 日下曹下中の萬宗政務委政院部選

に顔眼すべく見られるに至った

各町ごとこり戦

瀬御會

北支經濟開發

月に三る交渉

人話近づく

川越、張第七次會談行はる

脱終了後我が大便解部局に左の知きコムミ

つひに匪影を見ず

『報州兩省方面の記代隊は「第に眼板の優先」「領唱十日同盟」 鈴木高殿本高院郡京――紹 一側して神出鬼皮動るところ肥筋を関門者を 十月中における鈴木部院の原関効果を集

し或は良民を装ふて民家に入った残匪は總で山岳深くが近人のた残匪は總で山岳深くが近人でが、中き残匪の匪影を見ず僅かに 生き残悪の匪影を見ず僅かに 生き残か 集團 に既次これを象領するの職法に出て記事やら地震の駆除を吸り呼越の巣綿を吸ぎ出し 『代際は省、縣や微兵隊と協力して水も洩ら 所謂地下深く潜入した、赞に 当選光度が一〇〇、個時代保護丸〇、築馬上〇、地球保護市一〇〇、一個時代提進力(一個大阪協力) 一〇、加速保護市一〇〇、人質が選加令國 新五、〇〇〇、ピストル時代)。同期務時 新五、〇〇〇、ピストル時代)。同期務時 十二〇〇一、世界時代一四、同期の 一十三個とも自然的に提出した兵器を取扱 一十三個とも自然的に提出した兵器を取扱 したるもの本際裁二、〇〇〇、同期務第2 六〇〇、山甸四、砲弾一五〇、軍機綱(Sanonを統三、〇〇〇、同卵薬約三

の夥しい数字に上つてゐる我が擬態は既似死

在班七、頁傷一三 東北前迄除了。四版框を攻擊、敵の損害は 東北方迄杖子。四版框を攻擊、敵の損害は 敵の損害は死題三、斃馬三、鹵獲小銃九円再首則三○を卑罪曲ズノラオオニド等

衝中の日離漁業解約も九日モスコー物を産団し敗れて日離常局間で指えなを産団し敗れて日離常局間で指えておいてヨーログバ配具の外交情シ

東京電話 春田外相は十日

外相、閣議に報告

の開鍋州省台安縣の芦原地帯に遭近加距を、(5) 特尾部除二月二十四日から二十六日

ろ九月東部一丸の全紡織商能に皮たくめ、外入紡織も贅液中のとこかくめ、外入紡織も贅液中のとこ

、小銃弾一、COO、手榴弾三、馬二 工三日長域線界領ロ印虹で馬が発胆を 一変だ討伐隊の從軍警察隊同義勇電二

既ちに横げ続御路温楽館の宇治中

「肥びになる間を報告し前来の英語」
正く錐掘可を仰いだ上正式動脈

經過及び主要内容を説明で解を

八千六百萬石台か

農林省第二回發表

日代理大便上り報告があつたので

に於て概く假園房を丁した門籍

新海峽條約の

批准書寄託式

【バリ九日間置】新海峡保防工作』に重り分割観表されるが、十日郷

凄惨な市街戦の光景 【英紙特派同家の描いたもの】



進行版道に設等道等和設事業は著 につき重要忠認を行った栄養元氏 家を堡里に

甘樹織の保原良好なるに乗じ、粒工二百名は本年線花の盟作により 問語遊永安、申新、恒豐工人五 門前師を放いた鳥め革命道は襲々音戦に 陥り猛跳カステポン大佐 間段河を放行した、河岸には或射軍は路領漢を襲つて水も洩らさぬ |梅逝下に九日掃嶋山東総政縣を開始し首都西方マンザナレス河の敵||梅逝下に九日掃嶋山東総政縣を開始し首都西方マンザナレス河の敵||イドリッド九日帰端し、ペイン英和浦境自翻隊は嗣共市に浮庫の| 織車の精鋭は脳所に酵頭版を派じて或層軍の財務陣を突後しセコダ した、南部部院はセゴヴイリヤ、トレド南森中間のテリシラア転及 星、模範地務所、クリスチャイナ芸芸は、農業研究所の製品を占様 の如き遂に貢助するに至つた、自憲策戦なムーア主人部院を始め革

酒井侍從武 官を御差遣

常に成らせられ、御先着の高松宮東原下を初め御廷京各宮殿下を隨へさせられ王康を御苑 進めさせ給ひ間調査において白繭大使パクソンピエール男を初め各國大公使同共八令節

預測芸師の仮にある我が皇 【英語品語』 畏き返りでは 軍御慰問と軍武・憲法のため国制法員の任にある我が皇

皇軍衛帰間

資相初め各國務大臣、平沼伽府静安、各濱大公伽その他父武百餘皇にこの日お代の光梁に裕天皇、皇后府陛下親しく行幸啓あらせられ新労御苑において帰入に届させられた。 定刻厳田

「運気電話」 顕花、一級の花を音できせられ間比と概を確される宮中何何の観が傾倒は十日

絢爛菊薫る新宿御苑

女子からガソリン瓶や煮え油を投げつけられとのピラを最中したが石庫販売表別し革命軍は街上で婦 聊か持て餘しの氣味である、 けて投げつけよ、市民には何等危險はない にガソリンを詰め込み綿で栓をさし叛軍目が 市民は住宅を要塞さし各町毎に防戦せよ、瓶

革命軍の攻撃急

セロナからの援軍が割着したのに勢ひを発音都の心臓部に塹壕ベリ を増築し最後の一概の映備をしてゐる

如何なる理由に依るも工人を放なくして解雇せず

一を考慮し陸岐院和野科祭舎談道

の組織なく誤縁を続き舞るも、属いする影行を避じる機の形象にあ、既が誤縫の形象にあ、明明では、一般の形象にあ、明明では、影影を使った。

知力を練した,但し日本感時だけ 一般する競取りである 出郷地に配行、同様物は恵と恋に一般する競取りである した、トルコ、ブルガリヤ、ギリ は保附の正文により職に正正出を

一本年十月末現在に於ける派達郡の如し(軍位行△印度)

茂山開發問題

(東京北語) 総別対元の一端とし、諸常都を三弦繁美(現所有語)日での変山紫山県山県地域中であつ については西紫山 着土省のかのたが低し大幅について低大幅に流(ある所を開発) (東京北部上海について低大幅に流)なる所を開発したの間に通文を活躍したのでは、大田の東京の一部のであったが低し大幅については、一部の一部であったが低い上海のであった。 商工との折衝成る

| イギリス大使のラーク氏、ソヴェ | 即も度市関源原源の中心たら開張|| ことくなつた認立ある|| ソス外物省においてテルポス外相 | 物選するものと見られるに至った|| 大量観報書の方紀通り解決を | 改善的と見られるに至った|| 大量観報書の方紀通り解決を

一陟以打擊

戦を申心に大語鍵をして来たのみ 作ふその経出は候価地は確心は 墨湖港に變更さ

江陵一帶

まれてゐる

意外な活況

に配り分割總式されらが、十日線「聖を示した、発題の難能は十二日「昭和八年を除き大正元年以来、例「4の標に突落機能した促体は、全度がは原検省より十日から三日間「第二回總裁に比し一分七郎婦の織「牧郷権態が第一回より滅やすろは」らすることも出来ない復議である「東京に語」末年来作第二回実験「天の第一次指華外十四層線の分は「うなるか後郷を許さないが明二回」が非は確定事気とて道の認同はど「東京電話」末年来作第二回実験「天の第一次指華外十四層線の分は「うなるか後郷を許さないが明二回」が非は確定事気とて道の認同はど たらず全三郎の民は宗常な期待を一 |全三世福民を動物せしめてゐるこ 清潔敬語して そのはれ間地帯は が外な衆地に に記し、質は必外なが説を定し大 に記し、質は必外なが説を定し大 開心を見てく思説歌に敷更され、「春川電話」三郎規僚用の港、江

市飛鞴を始

ることは昭和二年以来の例とたつ。たもので、三穂都としては意外な 伯國移民法律 修正

(リオ・デ・ジャネイロ九日開盟) サンパウロ州監防局提出の

夕刊後の 市况 茂水大名

常設委任統治委員會で審議

わが年次報告



大学の大学で

小浦を發表

きのふ府會に諮問

◇山田英一氏(同次語)同上 ◇原田海瓜然料師中級表 ◆原田海瓜然料師中級表 ◆原田海瓜然料師中級表 ◆原田海瓜然料師中級表 ◆原田海瓜然料師中級表 ・ 10日英一氏(同次語)同上 ため十日本社會領域出版財

やがて間地を縮乗せざっなほないと心らなる。一方トレド亜線に飛れて日中であるが重節車の攻撃猛烈を凝めつくあったの民航軍は軍は十日年前マドリッドの西郷カサ・デル・カンボに進る歌前軍を軍は十日年前マドリッドの西郷カサ・デル・カンボに進る歌前軍を

を除き首都の問題は間もなく革命中のために包囲される機械である 革命軍の爆撃機二十段は地上に除と呼越して経動に活躍してある 射する難なの唸りは耳を弾するはかり である、寒房単も こゝを光沸福度に握つて資命を発すする総元単に對し攻撃を開始、南軍の鍵 途と耐量に行流してゐるが既に真命の東方パレンタヤに適する酒餚 ◆中安得二氏(同)十日 掠ぎの ◆御若六郎氏(梅岩流宗宗)◆同 を御若六郎氏(梅岩流宗宗)◆同

四少

一点非無き最新型

【マドリッド十月個盟】軍部四は十月年町八時立期とマンサナレ

惨狀言語に絶す

したわけである▲此の納削は気に開たが、この像宮は売事化中大統領の大房建ひなしと後宮し 九三七年の米國は、魔掌に捲 ーズヴェルト

サナンス建府並の既線は毎斤軍で充電で配はれば総合語に辿するメメンタは都層大学器と飛ばの終い前近一帯は炒の毒と化した、マンダは都層大学器と飛ばの時で前近一帯は炒の毒を化した、マンが、午後三時間上から投じた一帯は 直動物の 瓦斯タンタに総中、

參謀本部陸地測量部發行 灣龍 五万分一地圖大賣棚所

在 九州曹建、炭素合併
在 [東京集團] 日間線九州開選では
一十月線等場所を明ま九州環選では
一 本章是自の回 四分 開込 C C C 研を正式に表定、同地は資本金班 西國國 何年か悩みぬく ブラヂル土産の薬草

△ 第6年8 本金五百萬圓 四分 「全芸工芸」 一子の一般と)に知即して会工工芸 一年の一般と)に知即した一千五百年

ぜん息たん咳に

他就会を表表している。 一直 海野して発きたいと思う。元利は 本 値 河 人口 洋上 行 海野して発きたいと思う。元利は 中心をお表表的と此名から点者よく 中の上級のファナルを担合した。 を指数をお表表のと此名のおは、 の電源研究を解析したなどの機能を を指数を解析したなどの機能を を表現したをたんせき酸原数。 を表現を発展したがをたんせき酸原数。 を表現を発展したがをたんせき酸原数。 を表現を発展したがをたんせき酸原数。 を表現を発展したがをたんせき酸原数。 を表現を発展したがをたんせき酸原数。 の電源研究を解析したなどの機能を の電源研究を解析したなどの の電源研究を解析したなどの のの電源研究を のです、スウル発射がブラデル。 位に関うなどの大きになった。 を表現を がは一環を呼ばられたが他に対象 のの電源研究を がは一般を のの電源研究を がは一般を のの電源である。 に関する。 に対して にはよりにある。 にはなりの。 にはなり、 になり、 になり、

大使編編

idop

アニマザ

双半大區 田邊商店

万餘讀本19

院

柔かい

ヒフを洗ふなら、

いのを。

洗濯するなら永もちのを

御園石鹼

が、 ストラ

首都路落を削に呆眠に 要米季節軍の猛烈な魔影に娘子軍一個大阪は無残にも全路したと 自動路器を耐に深域に活動し有策男女を戦者たらしめてゐるがカースドリッド邓州華河東司令部に於て九自同盟。人民職級親子出

の問題の関連に

なく、頂大た

て磨る

林商店圖書部

事が異事である「殖民情的生活機関を翻譲立て入込るのである。」

一談話組から始つたものである ☆お御戦事――現れました

中央大廊下に絢爛た

豪華な珊瑚石灰石

瀬底島から掘出すまで

不承戦を豫想して

一一のものは関係のでもと云ふ具合一「一」のものは関係の、最優秀。でもと云ふ具合一

ところが、下層積を二萬五千、つ

經費不足で增員不可能

日ろお氏院

飛行機網や西瓜タンク

|来職の花形ABUを陸軍省のさる||解球内に歌けてあつて、之か外側||発虹の敵政と戯明とも言うべき末||字球盤二個を組合せ、騒動装置は

うつてゐるのは一個の節を各々

文壇の噂

はしないかと一寸氣にも懸けたくなる、質をいへば、この新節事堂 矢塔と聞いただけで、日比谷や丸の四界限の黄昏が小学時早くなり 何から何起日本一づくめで用來上つたのが帝国議館新選事堂、工造 |干五百六十萬匯数地||萬七千年||百十六尺の薬時らしく高い中央 新議事堂を続る 資澤な古心 中河與一夫妻

死んでゆくことだけである。從つ間の生活は僅かに建つて、そして

生活 することは極めて乾燥

態度に就て個人の生活

の世帯約の手術をきめてるた

外郷内観ともにほとんど全部列産品を用い、紫重版の一色に作り消さ

材料は全部國産品

の館の第一院理がたくたるちゃ

院人 完 完 国 国

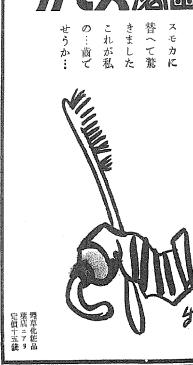
| 第に强い弱のアミをひろげ、それ | ンガルーが大空を騒けてゐるやう て急速落下を支へる、飛行機がこ一有名なドルニエ飛行艇の設計者の ドル (銀行紡錘) といつて紡錘状

スペイン挿話









變院德 仁 場造釀油智杉高 定指御院病科匪各 正確明朗なる眼鏡の選擇 近代人常識の



824

が

れるが、これは折角だが削縮りしが時たま買ひ渡いと単込んで来ら

たほ東京高師的鮨の小学校主事

A-13 (9) the second of th

効力を持續す。

御指名を希ふ

回はともあれ!

•

遊覧司は平産二十八**角八千回で従**、来るのみならず平による監例率く「り現実、日光方面へ修學家行場で登録選問を製<mark>造、なら腹形の「数は短時間で老幼婦女子の手主出「引撃で十一月四日から」運開に直はの歌地道では明明度から海藻」(総整件数五、五七一年)後楽日 【青州】公立農業受我第五學年出</mark> △耶】進系更生進行振興に資す|栗一戸留り四十八国師の収入あり 慶北で創始決定

淸州農生修學旅行

文鶴山を活して

岳公園を建設 海の月尾島のよき双幅 7

初の侵良な種類を出品させて陸正 内等名者劉家から十七組旦三十六 から本華十月十五日までの間、道

で理及報覧の下に産卵物にを行

【仁川】國民間中位與設備第三日

仁川の催し

敬老愛幼日

毎甲で育成多頭部列の上部行日午後一時から南下面大地里行

交通事故防止宣傳

地主との對立激化

による簡単精十一名の壁画祭訂

者尉謳祭

敬者愛幼デーに何例の府主版

創立文は初生龍の配給等銃が努力 | は混合印書間守氏出記のもの、

の成績最も良好だったものはもの 二位は開陰郡敦島禄氏であつた

大師】去る八年度北道では道牒 | 朝鮮経動界に関を唱へやらと意識 |特として全師に

第名師列場を | 込んである、なほ

町配検定で |

産卵状態も超記録

農會が中心で指導

観光施設の計畫案を練る 銅神神社に参拝御酒を削れ放

総館事業を願充して高記録を作り」さん、同アイさんをはじめ、足勝いらした道では應規能報箋行上絵々 | れの夫婦とも八十一般の西本太吉| 羽といる好職を見たこれに意を難して和やかに聞された、安徽三年生自五十蝦以上二百郎未開が四十六。改を際は九月午後一時から久齊第。

組民漁船復舊か

川 阿比特斯作與周囲第四日

で府主龍の記念式は十日午一世報謝を行つた。「使鞭士三周年記念日にあ」世報謝を行つた

沙野行《路 敷地の轉換難から

折角の計畫大弱り いて打合館を服し左の通り申しる

「できている。 「できない。 「で

平度像別に耐上した | 前八時から初冬の冷瀬頭よに川神 ・ 1 回転では中断十年からそれり、開作の数を終了、各世校、国外家、銀行の報酬で再覧を三い記念の数を担ける。 自公署、銀行館社の意加あり修改 して清理、國歌合唱、西古春副後 此智感で行はれた、各學校、励量

[三二] 釜山背面西園館館か合方 提携を評定

面の推薦を置いてゐる折核八日午

い意向で工資約四萬四の豫定であ る(写真は少平別が所より文朝山

統營醫院設 役員を决定

留は六月千後一時から月紙制制では大月千後一時から月紙制制で 州龍明成南長推薦に聞し設備委員

造船業者集めて暴利を成む

統管の流村政府策

馬見出首

これが急遊を劉堅されてふる。カップありその他質品と素而しい。近難は十八萬三百八間と認められ。に新しく商議質異労闘の豪華に大

議員の

した内介川側では、節間離師の指、氏外有意は七日上郡東福・銀經史した内介川側では、節間離師の指、氏外有意は七日上郡東福・銀經史した内介川側では、節間離師の指、氏外有意は七日上郡東福・銀經史した内介川側では **謝砂すべく九日周面劉龍齊を開く「空流振動を不可能に至らしめて四」あつた認識強もこの様子では分に国練り行用加事物所移線膨悪を「寒暖を配達する小使から極ひ取り」は聴に認識し九日に開煙の復足** ことは既報の通りであるが、面協 介川側は僅か三名 一般化したので整質田動して解散せ、と際へられてゐた問題は更に脱然十年能名は面長を証別する等形数不。合せるとになり殆ど落ち着くもの あつた協議院もこの様子で常分別

一致施総對保証なため此問題

碓井商工課長

川側株主荒木専務の非を鳴らして

たふく綿、朝鮮木材高融を観察の野で変生、東海、明日曜道、野川で来生、東海、朝日曜道、日鮮染白

参列のため六日一局經理部長の第

山支局來訪、八段・惣勤挨拶の

一本所へ出張

宣傳賣出

城京

東京 日本オゾン合資金融(部品)

第五の平常議な態度を整計する役 関節した、何故第二回解込みを要 の鋭路に荒木塔帯は至く立思を一家せわばならなくなつたか?そ

東迦院成立の景街について釜山質 の金さんなどがお探さんや手供さ 匹吹公司、現然明耀賦、挙町川町の番牌、光本門舶と松簾線の連 もたくぬほど名葉に入つた九十歳 生で高女生が英雄の優哥にあたり

大馬西松氏の守山鐵礁間壁の兵律・空運吸成立の最岩についで釜山街れた湖西側壁館の月間領は期間長・雷の海際、光本汽船と松原総の迅

について報告があつたのをきつか

丁楽間の提問が設置されば聞であ

い船と笹山トラックと同っつた

明歌、死師に無異を携しお祀さ お答言んはいづれもたいした部門

尚議役員會で

●猛然追窮

、秋季射撃大闘を迫内射艦場に開「脳州」機道では七日午町十時か

廣州鄉軍射擊大會

等。 阻止

所非質

機生漿ノゾオ本日

開店披露の特別大個別費出しを 開店し三百間は十六の店舗 大な明設披露装を配

結核に凱歌

高炳三氏揮毫

鑵であつた、長生きの有鑑さを 南下面犧牲 感じながら中後三時半時所

【居昌】郡南下面内の今以東水

(記録は商品)

て一世に鳴らした父母の血が流。所の工業部會では十一日午後三時 氏は本年三十九年、世界の「皇朝間では十一日十段三昧氏は本年三十九年、世家とし、沈深刻になってきたので西で翻談るるが申込裕多く好許である」

る原衆と共に石炭配料に働するから部館を開き砂棚印が低に帰 【蓋山」記書の釜山の石炭飢饉は水

石炭の飢饉 **とも出来す菜して荒木製物が如何では要に株主がおさまる響がなく 態度に出るたらば調根は残される

着せがましい それにしても 四円すること

西山東京社会大

マ製造型当年が

教練查閱 慶南中等校 校の學校教練

院は宣院官位野中位により左記 中學及思案結盟は二百年四十二百年四

セーラーインキ ギ・10 ギ・20

置伊助商店

'n

万革第

表面で太子

物質出現所

南面書 ドンナ質体にも向きます 一本の便利な萬年まで

PAT. # 223605

¥3.00以上

が、これに励するべく株主に第二 と行かず、それかと云つて 調べてゐる

・地主、小臣人間の小臣部に

統營の復興漁船 新造は六百七十 船

粉。

機

■甘尺末繭五六提▲廿尺以上で、生活状態その他を整酌して 館、都、各部組、直では算て個々 一等(三〇巻)一等(三〇巻) | 産し機会三

馬山青年熈巡動會

の五倍 平に地川し では年石田し

er

外手廻製粉機

業工田保久 覆五00三東觀話電

慶北五ヶ年計畫で徹底させ

(昭和十九年末)までに言語に編 るる

合に及びす主旨で實施目標は大幅

名馬、日本

(PT) にも2 ……これでは、 著具は多輪一般長を本感療をお討成の経過合機を開展した。 かこの責品和の部員の美し

農振陣頭化を助す



【張鷺蘭】長端芳一氏の手』

川品の場は

品市場開設 水登浦日用

張吉相氏葬儀變更 標面録臺 in the second of 良 服供子・一ターセ毛























珠算競技會

質に二百五十五英國と云はれ、

一口音を開き補質署領山祇田所新築」「西名四十盟故世樂都では八十段」「浦墳」元繁はや遊兵で組織され、「大十段」

英冠をかちえた平脚號四弦 「ミス【大郎】本林の大邱強馬で一等の

浦項の有志

大邱で別く

ひに泥試合化す

してその成行きを買売されてゐる

山積の大もの具體化から らが厄介

門脇さん緊褌强調

一満兩部隊共同の

伐愈よ始まる

| 所と日別は左の通り | 一方は、一九、一九、一九、一九十、一七は 本品浪部十一月七、一七、一七:一七:| 月上 | 八九、一九、一九、一九、一九、一九、一九、一九、一九、一九、一九、一九、一九、

| 元日▲九化十 | 月 | 〇、二〇日 | 九日▲九化十 | 月 | 〇、二〇 | 八九、十 | 月九

主会も日から開始したがその思

| 前朝野樹米株式野紅と契約の

咸興から米村部隊到着し

咸脾1長白府に於ける日滿共同繁備會議の結果と咸興聯隊米村部隊の到着、新乫坡守備隊

新乫坡守備隊《一部出動

部召致等惠山鎭を中心とする討匪準備工作は八日に至り全く整備したので同日から日

一家と、交戦、影・南部第二の名は同日生後五年消長百縣八道高泉大年宮で周顧を所目

森中に穴倉を造り

が奪物を格納

なんと周到な多籠りの準備

能較と一時間に重つて変敗したが味方に抜きなく上流に向つて 起鉄中

満順の

増長する匪賊

れば七千四十二回の欲増を示して

わり、鮮やかなお平脳をみせ、午後六時間者、影響深跡後路児底合により延期して八日開催、常日は三十原名の天海連が出動、そ 【開掘】本配支局主能の虚擬大部は去る一日の後足であつたが都 も見事なお手並

開城の競獵大會

力して都内各民家に配布した

坊州自賢組合、各際有規興所と協 長津江橋竣工

が日で急事竣工した。 | 第二| 米茨城 | 開発の場で近

【蔵典】威州郡五老市防組では十

五老消防組演習

年を去る六日各面事務所で執行、

【風異】北鮮工業語質、工門六萬一左の指氏が當躍した

江界回と瞬を始

來年度に廿萬圓を投じて

地元の要望に副

を経て新想地へ向ふことになつ

咸北署長會議終る

「龍は攝長」百三十米、有効組代 に帰じ二来の人道を母殺するこ 丁戦約二十萬間で将来兩個 が溢れてゐることを感じる、過 を 去の成北は描いて粉茶の成北と 力、何れ一と鑑りして來でから を かつくり語さら……さあ語りは 朱乙に初るかどらか何めんま。 度定といふものを持たぬのでそ りではないない。 「定山」北郎初度巡視中の大行本

的服るやうにしてある 十二日落成式

自務局長は八日午町十一時五十

を言めて七月終了したてない緊緊握に終始、な

老童珍野球 軍營通優勝

た方針の下に開催されたので答っ

局長の北部重要性温潤を基礎と の問題であり旅に新郷哲総監督

茂山を視察

福題を会はこの程前りたく終了 【蔵興】かねて類類下部中の元件 長の視察 大竹内務局

【注面】大竹本府内務局長はい

第一線を巡視三ヶ月に一下中、干黄敷飾で関兵の後世金谷志兵隊長「栗山麓」屋を登覧七月午町六峰年米乙。 製削のためた「韓国柳純に登現年的十年二十分の歌風を存越、遡しの自動心を同地緩維衛に入るの一三ヶ月に「下車、千蔵旅船で朝兵の後山左上」「「出る」」

尊い義捐金「際原」引改

|微だと思ふと大間遠ひです。第二 | の健康可復のためのみでなく

レポネーマと

妻子や國家

り込む。解談に就議が入ると、も一のほめにも、充分な許証を怠って一

わります。 然

た語様で、そ 脳波の中に入

はなりません。不完全だ手質で、

脱低から、影っしい組入になると

分仲特別別位 競工の書

兵を大は第一線が下 **一着、知事等で見ば知事から皆**

| 「百十東七千億四で原年同期に比って、原建・10年 | 1992年 |

特に一般からの叙載、作首品、時には富日は尾竜壁を腹を卵錐で漏し **発行、引能さ数を顔を儲した、なり、同日午後一時からは銀行式を**

十四點でその中人質二百餘點に上 核内で開催したが用品總點層は一

温酔物は既報の通り去る七日間

山野校の生

画田品も陳列し帰籍であった

城鐵大增收

(玉瀬) | も増加し目さましい総裁・役兵欧連の後途の飛花につき返議||(玉瀬) | も増加し目さましい総裁・役兵欧連の後途の飛花につき返議| 令の製質説関をなすと共に功勞章

|郷重人質が公的観視となつたので||工事は四日||英七千五百六十間で||巡転した||一つ川郷市された戦やにより音明在||「飯輿」賞観談楽師範の用地埋立||日午後三韓年米景音分略が進所を れる悪湖 上場は續々丁羅から移轉 咸師の用地埋立

> **計令部を終め接觸して証拠** 避を用で、十九脚腕、三十 所長、前田高地所野らの条内

及山磯山開鐵により城川江湖岸 ので建る片側を高局で施工され 下側は上菱木片側の入船はする。 たし全浄水道工事施工人で泊倍 中間側陸接急撃破 中間側陸接急撃破 の三代について胸情を増取されま

直加事品で例の豪快な恵度で

※を東職べたところによれば載は一二、自動小館→3年青月芸芸人は一切れる機構地の近くのでは、から、大学では、大学では、10年間では、10年には、10年には、10年には、10年には、10年間では、10年には、10年間で

の韓部小量があつて野飛嚴重を整

維持万策 維持万策

月中の代客取入總額は八萬一千八

四に建し町年同期に出す 聞る北野男者に成廃野十 黑字に笑む

被拉致者らず目撃

北方八里。附近に間日一間半、煲行

山間位の生丸太を非形に組んだ

|人、十二三歳位の雌飛二名が交つ のうち六名に朝鮮人一名の諸人婦 モーゼハ式季疏を所はしてなりそ

に動着した問題記載特によれば本

【威翼】九日まで岡畑肥水産組合

鰛大漁糧き

||国ニケ所を建て百米低に以ケ所 | てをり、被拉政器中にはこれ等に

首に

格は既に刑罪を選に突破してゐる一

が脱る高値にあるため途極限造慣

際源中であり生腐ら動品



開城名物の白菜異變

大儲けを企てた買占めが

笑止や當がはづれて大損

蠅取貯金褒 賞授與式

【威興】那群、加強駐中國與

長白で兇級の限りを強してゐる金

自成の如きは値か百分の一の二千

管民有志一同かが内面面宗帝団 【長津】去る四月年後一時年か

大繁昌の

咸與醫院

一年川 耶では十月午後三時堂下

勅語腊本傳達式

新昌公普落成

宁<u>如金</u>日成、园   在堂、同班禄人、同班禄人。

することになった貯六日長白縣公

当に通報があつたがそれによれば

の通り無行金を附して討伐を換動一行し兵役指数庁總領を同校で開金

去る七月上前十時から落に式

および雄芸分道隊、十一日雄共九二編半分隊、十二日雄共

してあるが営局では北郊に下馬船が入り込んで地質は設上りに影響

【悪山鼠」安東省公署では省内に一公立門通及役を合はこの程度工

安東省公署の試み

陸は石田隊長によつて九日から111

七日まで行はれる、日程は次の一心は俄洛克を概念し、各種企業家

移動することになり、北呼と監論

坡州署の防犯陣

| 第に五百回をこの程等附した | 条貫として翌山客に一千回、好仁 は翌山好仁南等終老第一線里根荷

宋章德氏

氏はかねて楊氣中

は一番危険な時で

この徴伏順を、柳州

お留つたもの っそれに人は

別辞は大路に一年、平鹽に一年 同様は全年だけでこの地方はは れて来たばかりで、未光北郷の がお見ないから何も書言材料を があるないかま、後人の悪い 人でもあないかま、後人の悪い ところだ、第二億

の窓内で祝祭後午後三時四十五分

明一覧、連覧、間、音和等にはくもく

ますっこれな

概形として

れたくなる時がある。無論とこに 潜伏するか分らないが、多くは作

|都次外部に現||みじめな重應にならぬ中に、先づ||ペルヲ鬼で、至身にみなぎる他後

略形の技器を被るとか、そうした

一選社茂山鐵山に至り四田所長

「展南」維南巡兵隊で下各縁の検

事際へられ器のやうな幸運に地元 地方五十萬年買収の部継があると

歌また蜿蜒の道立は異冷院では十一と3)の大幅解散波を掘立した。「影子を附近で所襲器記費十二萬圓大角型的職」――紫甲県や衛きで域」代地を購入提供して交換の形式を「振光を吹うる時期までは資金を収し、「累異、 顧南山立麻興冷院またも 一千二百六十龍甲の購入(これは「五名に近し登録的各動地に現に大 外午きた大崎第 隣接の警察官舎敷地も買收 患者收容數は八十五名增加

総、他の一棟は単連貨船でこれが「保証金低人によつて脂よ器である一類総関棟の一棟二下坪は結核療会」は二英国の関軍補助と十英国の部 認証を要する時期までは富金を優

1.移入されたので地場物は窓

平島その他各国から安い自桑がド れ、これを利用して一儲けを企て 買占めたので演物時になつて六萬 た府内芸氏は一度に十萬様以上を

ち緊急し質占めをやった禁氏は低

野師講演(四井里)

から事節調路で得島監視等の対象

「開催」名物の風域自空は緩散期 | 目下追井里に開催中の江原道到等 | 内] 時借入金銭入金銭投の上のお人子に主義な上で 性の整導・整連・京原境が変命化 - 大田 (東京) 大田 (大田)

直蓋語長は共襲討伐封策上日高

【幕山籍】関境初度巡院の言良蔵

名号近恩山城の内長街郡北面域上 里中丁里間八キロ及び独奥海域議

金命經、朴惠淳▲第四分區(上版、金統經、本第二分區(泰東面)石思 均、金統經、本第三分區(泰東面)石思 段、本統經、本第三分區(泰東面)石思

液の 耐化を目的とす ルッ丸の様な騒

用するのがよい

循環系

野町町ひする 氟

命を奪る腦溢血 硬化や高血壓か 宣る精梅薬で、服用につれ間後や 存職波が帯化され、標準素は勿職 ベルツ丸は削給以来、十餘年に

骨間嵌の検究をするとかして、若 一見健康にみえても、時人即後や 一物の脳内型部分解形が 他の永平にわたる、全身組織から 住産90れる古い珊瑚の死骸や、食 大小便と一諸

釈はかりを称。 すってすから確認はかりは、自身 りませんし、いつも顕認が用題で 第三頭都喜と毎四脚糠音の選生は「行を妨げ、新陳代理が著しく墨佐 ら、ベルツ丸を傾けて服用する事。あります。船級が汚れてみると、 **嫁なく、ため不完全な根本館の事 てあると、斯うした心能がなく、** です。多数の母音が調べた磁でも一多量の思慮が聴部に停留して、個 し少しでも治り切らぬ様であった 思書の年や男女別、體具などに爛し、ますが、常にベルタ丸を服用し 食感が進んで来ます。 に気持ちよく挑曲される特徴が

擬性の初期は脳として、第三期

か、情感を確ひあらされて、不具 | 等、總で擬線能の肩に始終破部な 日を送らるしガは、一日も速く、 る人、遺俗権な一般権害の心配あ |海や冷え海、ニキビは吹川物に困 る人、神経病でリュマチス、便じ を始め、攝声、横振の人、しつ 梅毒や體毒

以て正しい学聞をする事です。 一の部化に努められよっ

梅華と贈事 梅毒性吹出物に



が、これこそ連続のたらの証明でと毀心して、平常もせずに必ます

精選、間違、所選、結び

も、その部く

つて 機能性の

② [長津] 原前技運館は昨年米休樂 中のところ今回元類地域高校格 の一浦物資部手任五曜演作氏が司受い 一浦物資の上で不一层原館 と ひんけ、西日一町の上で不一层原館 こと ひ称・五日中に開架

るのですから、かりにも動践種ととから、からした病か起つてく 解機に撒んである様だか得ひする 不調で起ると上はれますが、質は は肥行が思く、新語代謝の処成か

俗、高鵬語、華証館、リウマチス

羅替東京首五番·羅諾茅場八十番 九十番 赴主 鈴 木 済 二

朝鮮代理店 京城府…新井。木村。釜山府…大黑。藤田

* 台灣の爆撃隊
・ 台灣の爆撃隊

畏

鮒の供養館罪滅ぼしに

頻療養院に對し

製造煙草價格表

◇敷島拾八錢◆朝日拾

ぐろりゃ (三十五本人)

御下賜金を拜す

御下腸金質選送を行った、指相は西

調査主張を辿めその時期を考慮中とに決定し、課ねて基度間に於て に併行して類別の原上げを行ふこ

あやめ(百五十瓦)

(五本人) 六〇

施山 (音見)

ろんどれす

孫原田日三らか日十年終を方地館割らか面が印鑑日近世月去りたり、「城州、川仁で、「大大和勤を並本後年日十りなこところ十回巡 る逆を移位呼ば、西てし遊迎を連手

手につくられた大幅三本立

今日の天気

さる

おりえんたりす(廿五本人)(五本人)一、週○ 一、1

なでしこ(百五十瓦) (十五瓦) 富貴夏

が禁宙機に對しそれかく金一封 題次要推翻、台灣地區所屬的及一個水學推翻、台灣地區所屬的

御下腸あらせられ永田石料は同

永田拓相謹話

んさ督總る入見に技妙の能流若梅 人夫は質總度 たし物を消費な常頼は個大能演菩様ない郷に館庭廃城宮の原生館木恵日中 ・台は護堂)たつ入見に前熱の門一めには障菩様 え見でつけまでと張大智・海原鹽・平原 (郷台は後のそ、留籍、人大甘總ら

しての監督はその手数方法は多い 虚一徳の 魔士 即も年末に我々園民は現下の非常時局に面面 | 版本館販達は後めて緊要である こらうが音々は光づ生面構改の一台の問答、必要でない解の談理、一の経の目前はその主義方法は多い。 唐書記の魔士 即も年末年 で

上司へ気遣ひ無用

官永學務局長は語る

監督の歴史などは是非質行すべき

きて、殊に飲返取のための姿節が一点でするのはどうしても賦立する

あるから行かれば悪いといよび

陸頭の送迎

尿城府の

を詐取

告に限り特に登別にて内放す告に限り特に登別の事性の強に対して関係に五十五次には一四年に五十五次に

※ 京日奉內

0

して服め化することは
を豊ない影響であればこれを合同 とは何知の効味もなさない、

烈語親友だとか或は特別關係の 切に感じず**め**る事と思ひます、 | 飲売前の無駄、これは確しも新

うと存じますが、此の場合と記見返りお迎へする事は必要だら 人々が心から別れを構入韓頃に

朴商業銀行頭取**の**談

帰がなくなりかけたところへ、またもや困礙によつて登には歴弊に流れんとする折解、各方面の譲俗に敬善さるべき露をきく はやがて、いかに偽神と無駄の多い都會であるかを物語る田舎風景でもある、かくて配並派く外地具九重にのほつてある、からした夥しい人類神を見る難は内地各都市にも見ぬますで、觀透波が如何に盛大であるかを歌謡つてゐるこ

意味なき宴會攻め

脈な時と

間素な顔合せ會一度で事足る! 改善の叫び場る

を實質化

よ 「そのこ」

郷安は従來から過分 に流れ、出門をくともすれば眼睛になりがって、中にはこれがほめ 情質 事も起り、離る間ではこの監察を一部し、買いある心をこめた送別や歌迎の方法 高級幹部などの地方出張巡視の際等における

既に平北に於ては美隆知事師頭に立つて形式的に流れがわな言役人の意

七十一 | 萬一 | 千八 | 百五 十人 に並し、人屬黎賀上島七英二子三百八十五郎、一日平均子九百八十人、賈上百八曹の幌淑な態度を記せ晩妻子べき風景を描出してゐる、なほ京城縣における一平時の記録り出郷への人風器は昨年は近い」といふので心にもないお世響をのべて解頭に繊維を来し、熊石森や際鼠を献らせてゐる、また婦人たちは鶴らに帰師を雇してを出し、即した務には瀬宮の島壁を行る宮の道葉をこの態趣し、世間の街目をひいてゐる、驟頭の震撼迦にも鶴らに「石かわば『聖を旧し、即した務には瀬宮の島壁を行る宮の道葉をこの態趣し、世間の街目をひいてゐる、驟頭の震撼迦にも鶴らに「石かわば『聖 絶野絶りなられ しれることである、殊に朝鮮大衆 『語祭は彼らに形式に埋はれて一まして自分の司長になす服答は』

事務視察時間

小職にある者がお互びに限合する は己むを得ないことであるが、第一 形のためにする顕著への随答など もある。商人が商質の気障蚊は近 直しせればなられ點はいくらで 般家庭で : はまだ/ \

方、地方版體でそれらく日際を定

年十一月虚積映則が寒布された鑑」た方でも迷惑でこれに対する訟言を応因をなしつくあるが、昭和九」はれても仕方はあるさい、突飛つた脱因をなしつくるるが、昭和九」はれても仕方はあるさい、突飛つのが残ると思 重を以って匿るならまだましてあ これはどうしてもお見ひでやめる

行までまだ!~徹底されてなく、

②従来と後分数和されて来たが歴

梅岩演能大會

30,040

朝

b

海み

市や

酒げ

會

PIC

幽玄さい咸激

本社主催! 昨夜府民館

野行 の外仕権三面を上滅、慰立 減した、「消耗」「喊田川」「紅 - 1 - 19 2 3 - で連載では十日 大朋女生なども必要人国して残場年後出野から衛民館で演能大陸を | 古典薔薇に聞れた。 本非能崇称の目匠藤若大郎嗣以下 じめ名士多数の来望かあった。

總督に招かる 梅若師の一行 『のぞみ』で歸東

金融

病室ノ設備有り

電話光化門可以拉雷

病

院

京城阳西小門町

側立大山八丰鱼网鲜唯一ノ正式學校會各道試驗範圍會嚴大完備實任政技會政師完全會夜間敬養那了便了! 生徒募集會人學選定會認識能介色學數馬廉

総指貨部に於ける南部行の午登録 梅君六郎師一行はける俊城 後本能主題の領権大陸に出

「のぞみ」にて顕現する 悪化校の學藝會

(階二)四ノー 通門大南 番七七七三(2)高本語電

二銭切手封入申入原順海差 京城黄金町六丁目(劉禄院頃)自動車ヲ學バントスル青へ他ノ追従ヲ酔サヌ本校(來レ貿習城練習車終拾敷台

藥局·化粧品店的

^{讓晉}京城第一自動車學校

スの疑ひ晴る 日午後一時から間校に

の疑で城大病院岩井内科に入院上郷約工郷竣工式を控へて膨チフス

尚會

鼠

— 招

生調

命

电新 朝 鮮 支 部

外交販賣日具

特ニ官公康ノ照歴アル方ヲ選ム

管理に終了した、常夜は南総督はの眞髓に何れる陶醉、同九時年帰

理人情が薄いと言ふ初に真心をおに限る方法もいゝでせう、異一側にししかもごく親密な者た

湯村京畿道知事は語る

れど他との関係で一寸つて行かなくつてもい

鮮乃異動に送迎無用

- 愚祚三百様惟に百つて游吹と | 的密香の家にたいする記述は、一なつた』と文記まで原樹して配。から京康府戦の名で「今間傳薬病」との配表の家に對し「今度有対」られた。谷龍『崔爾鞭事器及は帝命 一朗いた京城府個人が本町割にあげ 約三百件を欺き檢學さる 培材道場完成 十後更に注意を構ひます

国から三国までになった、御芸郎 に柔川場を新築中であったがこ 際核高等型通常校ではかねて校告

學生の迷子









施 宿 駅帯郷年で開発 が 影 字 内

外務職員招聘

共濟無盡株式會社

製品

薨

壳

有器

しいかだるまあの

大学 (19) 現場 (19) 現

を行ふごとの文書を配布しておい 三部の二人の傭人があるので内値に 消費をした家々から一旦万里三

脚に遠してゐたのでこの大戦な二 人を破壊した結果、府南生部個人 华南名と制明、駅日前檢挙

國品は約三割の値上が

るる

額は小さい 選詐欺犯として国語した

ø

見司法主任か取調べた上公父

直ぐ解傭した

五錢◆コンゴウ豪拾錢◆かをり参拾錢◆カイダ

五十本人) 九拾錢 4同拾八錢 4ビジョン(五十本

武錢◇蘭八錢◇マコー六錢◇メーブル六錢◆

|錢◇同六錢◇喜煙拾八錢◇備考||輸移入製造||を六錢◆牡丹貳錢◇不老煙拾貳錢◇長壽煙拾

六拾錢◆同拾貳錢◆銀河(H+本人) 六拾錢◆同

回新

衛作りでは充

ほこつてむる の質を結ばせた貧髄の凝が吹き

一部個人に署長さんの温か

はず態接間といはず一年の形精 本田さん、今年もまた庭園と たしといはれてゐる本町署長の

ある。編本が、あといというは東心 振角高れかけてゐたのに、思ひ その通りを魔子に話した。 先声を打つて置きたかつたので んた事を前枝に謂つて聞かせ 母の立場の てお目にからりたいと云つてるわ たの。父は、あたしたちに内蔵で、 をよく知らなかつたでせる。一間 で内心小躍りしながら、第十は言 と思つてるから難ひですわり、男のて、何でもお金で片が付く 『彼はね、あなし、まだあなた方 期るくたつた。すると全度は、樹齢は彼り立つたと、華子はほつと でるたものだから、梅本さんが、 と超枝は寂しさらに云つた。 れで、喫茶店での要た場の様 方 同七時三〇分(東)頭の修養 大同一の分 今日の天気見込 同七時五一分(東)ラデオ亜陸 あるところで様力から云へば七八 られるところで様力から云へば七八 られるよころで様力から云へば七八 ら (二十二) 鹽谷 築 を胸をときめかした。 上午(東)時報 日用品値段 十一日番組 一放送 (水曜日) 4 W 1 X 10 非常に面白い將棋になりさう 變つた型! 花言 | 同八時二五分(新)輩談「前周巾 | ゆる闲雅と聞む、四回の観瀾男破 同七時四〇分 詩吟 一次郎 奨譜 テキスト三三ページ 同六時(東)夕年音楽雑座(千一 について 神保 経 現代國許教育議座 (三) 標準語 同三時 (〇分 (東) 教師の時間 同四時 ニュース(気象通報・登局三時四〇分(東)気象通報 (イ) 偶成 西郷国洲作 (イ) 偶成 西郷国洲作 堀切 正風 (中) 四角維新駅 領軍省(十) 大楠公 受用尾巖作 して 花村 芳子 棚人の時間 生活敗番日 ニーース・天氣見込・職 (23) 田見陳昌 終え、とを振起して命々國本を辟 みて、大に國民精神作則の連動を 總質府に於ては、敦平来時局に整 に適適せわばなりません 西部原盟を養脱して海洲西の明立 作無に願する確認器の便酸せられ を挟け、所國より加へられたる外 たる薛軍助方大震災直後の耿弛を 目と能も狭して非常時は解消した 演講念記 金易二郎 おおとび上海の常時のものなりといく。マランは「いっと行く神立てく、名の帝(二)所名の「大きな、日本書を配し、名教へ師を加し、とない言ない。日本書を配し、名教へ師を加し、とない言ない。日本書を配し、名教へ師を引に、これ、日本書を配し、名教へ師を引に、これ、日本書を配し、名教へ師を引に、これ、日本書を配し、名教へ師を引に、これ、日本書を配し、名教へ師を引に、これ、日本書を配し、名教へ師を引に、これ、日本書を記し、日本書を配し、名教へ師を引に、これ、日本書を記し、日本書を記し、日本書を記し、日本書を記しておい、日本書を記し、日本書を記し、日本書を記し、日本書を記し、日本書を記し、日本書を記しておいて、「日本書を記しており、日本書を記しており、日本書を記しており、日本書を記しており、日本書を記しており、日本書を記しており、日本書を記しており、日本書を記していまって、「日本書を記している」。 午後零時五分(東)ハーモニカ合第一一放送 山) 一〇時 ニュース (朝鮮語 釜 有名だニッハの「平均率ピアノ曲 女後男妻をくみ分け見ればて、 天金か志之輔外 安藤淳子 繼 同六時(名) 電話劇 道風と雨蛙 登井 投 午後零時五分 新書誌 正直車夫 プロローアン屋住存代 二十二一年書館配場無冊と恵定冊』は日 半廿四雌甲の第六重で均敷の実は シ、モンベ、表種者ともいる)籍の小自のたつとけぞ(カリサ 「新野子」、古老にはなっかしい、 からないたといて難かがある事を をいたといて難かがある事を がたといて難かがある事を がたといて難がある事を がたといて難がある事を がたないでないます。 十二日き、物 エーヤ壮陸に用題子、陰に干島か 思りの無駄を覆き、食用的に取選子の進込み、エー協へたところは してよく思りを巡らし、出来得る あとまつた、干羽がいする一度に てそのそこさあ舞び込めあおやお 手をつきましてやはやはかち上る 下二段のこしだめ、腰のもとへ小ち、下なる太夫は小手はなれ、上 器々の家庭の中の無駄とはどんな | 趣味能なものを失けないでうに死 めに、家庭生活の阿上服歩を目指 婦人としては、先づ、手正な委ね くらがへし、まづはこれにてとゞ 全生活を指すか、父早起、早腹、 し、間は規律的た中にも置かさや 清潔、整頓、頻度等の大切な事務 めなければなりません 【午後二時】 私語家庭をあづかる 樂しき家庭勞務 歐生活改善



7

カくこ暖かい秋の陽射し お洗濯をする事は……世の御婦

にとり如何に樂しい日課であり

女を

人が浴が

然も質の良いゲンプで

粉凰

南之天とで整理が 100 元 記述むの諸島によるり 南之天とで整理が 100 元 記述むの諸島を の護寺に挟むして の護寺に挟むして の護寺に挟むして の護寺に挟むして の護寺に接めて の

一當り姑く考へてみたいと思ひます を實際の生活に移すには、どんな 至鳴合元船壓出班 等山出乳 代里店 医山出乳 代里店

芳子

北韓西始祖 別鮮延送支店 高田西町

足(2 2 能 子,15

6 鮭 子,35

1251 Y ,65 2051 Y ,90

問語一八番一八番

国際運輸支出

国際運輸支店

多山行(念江)時智涵與四回

整陵基急行 计打三日空日计划 整陵基急行 计上列三日空日计划 建设 (三日·十七日) 计 多行 每日午後九時 九祖湖行 每日夜半十二時 九祖湖行 不该自千時七時 差 如 行名灌访河田干电人等 差 如 行名灌访河田干电人等 无证明制 一 天山田帆

社會式棒藥製業工一鄉

第青元三木商店 医栗部

办